

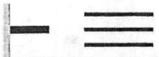
支 出 証 拠 書

(会派名・議員氏名 自民改革会議・ 落合慎悟)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費 (資料購入費) 事務費・事務所費・人件費		
内 容	日本教育新聞購読料		
年 月 日	R ⁵ 年 2月 6日~	年 月 日	金 額 2,750 円

目 的	県政社会情勢に関する情報収集
使 途	2月分購読料
政務活動・ 県政との 関連性	県政等の情報を収集し、静岡県の教育政策に活用する。

《領収書貼付枠》

	9				
年 月 日	記号	お支払い金額	お預かり金額	差し引き残高	備 考
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7	05-02-06 BF	*2,750	SMBC(ニホンキヨウイ)		
8					
9					
10					
11					
12					

案分の理由	領収書金額 (a)	案分率 (b)	政務活動費支出額 (a×b)
全て政務活動に使用	2,750円	/	2,750円
		100%	

支 出 証 拠 書

(会派名・議員氏名 自民改革会議・落合小眞小吾)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請陳情活動費・会議費・資料作成費 (資料購入費) 事務費・事務所費・人件費		
内 容	企業活性、地方創生、イノベーション 月刊 事業構想 2月号		
年 月 日	R ⁵ 年 2 月 1 日～	年 月 日	金 額 1,600 円

目 的	県政社会情勢に関する情報収集
使 途	2月分購読料
政務活動・ 県政との 関 連 性	県政等の情報を収集し、静岡県企業の企業活性、地方創生政策に活用する。
<<領収書貼付枠>> 月刊 事業構想 2月号 学校法人先端教育機構 事業構想大学院大学出版部 JCBカード支払い 学校法人先端教育機構 2/1 月額1,600円	

案分の理由 全て政務活動に使用	領収書金額 (a)	案分率 (b)	政務活動費支出額 (a×b)
	1,600円	100 %	1,600円

領収書

学校法人先端教育機構

2-3-2-2

請求書番号 49A83ABF-0002

領収書番号 2629-7848

支払い日 2023年2月1日

支払い方法

学校法人先端教育機構

〒107-8418

東京都

港区

南青山3-13-18

313南青山6階

Japan

+81 3-6273-8500

support@mpdpress.jp

請求先

SHINGO OCHIAI

〒

Japan

aircon.shin@gmail.com

2023年2月1日に ¥1,600 が支払われました

ご利用いただきありがとうございます。

説明	数量	単価	税金	金額
月刊事業構想スタンダードコース（月額 / 自動継続課金） 2023/02/01 ~ 2023/03/01	1	¥1,600	10% 込	¥1,600
	小計			¥1,600
	合計 (税抜き)			¥1,455
	消費税 (¥1,455 の 10% (内税))			¥145
	合計			¥1,600
	支払い金額			¥1,600

学校法人先端教育機構 様の無料トライアルは 2023年1月13日 に始まり、2023年2月1日 に終了しました。
カード [] に ¥1,600 が 1 カ月ごとに請求されます。
<https://www.projectdesign.jp/> にアクセスしてサブスクリプションを更新またはキャンセルしてください。

支出証拠書

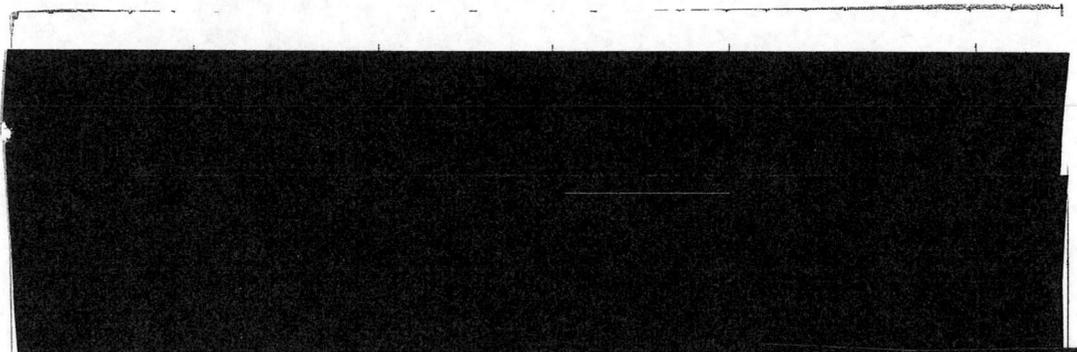
(会派名・議員氏名 自民改革会議・落合慎悟)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請陳情活動費・会議費・資料作成費 (資料購入費) 事務費・事務所費・人件費		
内容	日経新聞電子版+産業新聞ビューアー 購読料		
年月日	R ⁵ 年 3月 10日~	年 月 日	金額 7,427 円

目的	県政社会情勢に関する情報収集
使途	2月分購読料
政務活動・ 県政との 関連性	県政等の情報を収集し、庶民的政策等の情報を静岡県の県民政策に活用する。

《領収書貼付枠》

日経新聞 (宅配+電子版+日経産業新聞ビューアー)
JCBカード支払い 日経ID決済 2/1 月額7,427円



21	05-03-10	JCB カード	26,616	
22				
23				
24				

趣味やライフイベントにご利用いただける目的別ローン

車、リフォーム、教育、デンタルなどにご利用いただけます。
お電話1本で ☎ 0120-550-237
お電話承り時間 月~金曜日(祝日を除く)9:00~17:00

案分の理由 全て政務活動に使用	領収書金額 (a)	案分率 (b)	政務活動費支出額 (a×b)
	7,427円	100%	7,427円

利用ありがとうございます。ご利用明細を案内しますのでご確認ください。*お支払いは毎月10日(金融機関休業日の場合は翌営業日)に指定のお支払い口座より自動振替となります。ご入金日は前日(金融機関営業日)までにお願いします。口座未設定の場合は、カード発行会社までご連絡ください。*お支払い合計金額がマイナスになった場合は、指定のお支払い口座にお振り込みします。

2023年 2月25日

カード名称	ANA JCBワイド
カード番号(一部非表示)	

金融機関名	
支店名	
口座番号(一部非表示)	
口座名義	オチアイ シンゴ

2-3-2-3

今回のお支払日	今回のお支払金額合計
2023年 3月10日 (金)	26,616 円

2023年 2月15日 現在

ANAマイル自動移行コース (10マイル)									
当月獲得	ご使用ポイント		累計ポイント			次回失効予定日とポイント数			
内ボーナスポイント	内ボーナスポイント	内ボーナスポイント	内ボーナスポイント	内ボーナスポイント	内ボーナスポイント	次回失効予定日		ポイント数	
11	0	-12	0	11	0	2026/03/15		11	0

- ボーナスポイントはANAマイルへ自動移行されないため、お客様ご自身でANAマイルやOki Doki商品への交換手続きをお願いします。
- ボーナスポイントは、Oki Dokiポイント1ポイント=ANAマイル3マイルとして移行が可能です。(500ポイント以上1ポイント単位で交換可能)
- 本年スターメンバーズ集計金額2万円。50万達成で翌年はスターβ、100万達成でスターα、300万達成でロイヤルαです。

ご利用日	ご利用先など	ご利用金額(円)	支払区分	今回回数	お支払金額(円)	摘要
	ANA JCBワイド		落合	慎悟	様	
《ショッピング取組(国内)》						
2023/2/1	日経ID決済	4900		1回	4900	
2023/2/1	日経ID決済	1527		1回	1527	2-3-2-3
2023/2/1	日経ID決済	1000		1回	1000	
《その他》						
◆お支払小計					26616	
◆◆今回のお支払金額総合計					26616	

●支払区分:1回=ショッピング1回払い、2回=ショッピング2回払い、*1=ボーナス1回払い、リ* =ショッピングリ* 払い、3~24=ショッピング分割払いの回数、S1=ショッピングスキップ払い、CJ=キャッシングリ* 払い、C1=キャッシング1回払い、海C=海外キャッシング1回払い ●今回回数:何回目のお支払いかを表示 ●法人カードの下4桁は「1***」と表示され、実際のカード番号とは異なります

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 落合 慎悟)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	山口県・鳥取県 水素エネルギー産業調査視察		
年月日	R5年 2月 1日~ R5年 2月 3日	金額	67,400 円

目的	水素先行県を掲げ、先駆的な取り組みをしている山口県庁、山口県山陽小野田市の長州産業株式会社、鳥取県が取り組む「すいそ学びうむ」の水素関連事業を調査視察する。		
使途	交通費、宿泊費		
政務活動・ 県政との 関連性	脱炭素社会を目指し、水素開発で先駆的事业展開している山口県庁や企業、鳥取県の取組を調査し、静岡県の水素エネルギー政策の推進、県内企業の水素エネルギー関連事業支援政策に活用する。		
<<領収書貼付枠>> 交通費 JR料金	①	45,310 円	
	2/1 藤枝～静岡、静岡～湯田温泉 (新幹線指定席 静岡～新山口) 2/3 湯田温泉～静岡 (新幹線指定席 新山口～岡山) 三石～鳥取、(特急指定席 岡山～鳥取)、鳥取～相生 (特急指定席 鳥取～上郷) 相生～静岡 (新幹線指定席)、静岡～藤枝		
	②	③	1,450 円 + 1,450 円 = 2,900 円
	タクシー料金 鳥取駅～水素学びうむ施設 往復		
宿泊費	④	コンフォートホテル新山口 4,640 円	
	⑤	ユウベルホテル松政 15,000 円	
		山口県入湯税 -450 円	
合計		19,190 円	

案分の理由	領収書金額 (a)	案分率 (b)	政務活動費支出額 (a×b)
全て政務活動に使用	67,400 円	/	67,400 円
		100 %	

①

駅-No 51201190 領収書-No 10
窓口-No 1
領 収 書

2-3-2-4

様

金額 ￥45,310円
「消費税等込み」

但し、乗車券類(クレジット扱い)として

2023年 1月29日
東海旅客鉄道株式会社

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済

藤枝駅

現金出納社員



②

領 収 書

No. 0533

日付 2023年 02月 03日 13:31
車番 001052 0000
基本運賃 ￥1,450円

合計 ￥1,450円

上記の様に領収致しました
毎度ご乗車有難うございます。
お帰りもご利用下さい。

毎日タクシー(株)
TEL 0857-22-8288

③

領 収 書

No. 0534

日付 2023年 02月 03日 14:14
車番 001052 0000
基本運賃 ￥1,450円

合計 ￥1,450円

上記の様に領収致しました
毎度ご乗車有難うございます。
お帰りもご利用下さい。

毎日タクシー(株)
TEL 0857-22-8288

④

領収書 Receipt

NOG1641095

落合 慎悟 様

収入
印紙

金額			百万		千	円	※
						¥ 4690	

内消費税 ¥421

<input checked="" type="checkbox"/>	現金
<input type="checkbox"/>	クレジット
<input type="checkbox"/>	クーポン

但し 宿泊料 112

西暦 2023 年 2 月 1 日

上記正に領収いたしました。

〒754-0043 山口県山口市小郡明治2丁目7番21号

TEL 083-974-2511

FAX 083-974-2512

<input checked="" type="checkbox"/>	宿泊料
<input type="checkbox"/>	食事代
<input type="checkbox"/>	電話料
<input type="checkbox"/>	駐車料
<input type="checkbox"/>	会議室料
<input type="checkbox"/>	売掛金

発行店 **コンフォートホテル新山口**

株式会社 **グリーンズ** 三重県四日市市浜田町5-3
〒510-0067 Tel.059-351-5593(代)

領収印
23.2.01

扱
者

⑤

領 収 証

No. 12034

落合 慎悟 様

2023 年 2 月 3 日

金額			円
		¥ 15000	

但し ご宿泊代として

上記の金額正に領収致しました

収入
印紙

税抜金額	
消費税額	
現金 CASH	
クレジットカード C.R.C	<input checked="" type="checkbox"/>
クーポン COUPON	

湯田温泉
ユウベルホテル 松政

〒753-0056 山口県山口市湯田温泉三丁目5-8

Phone (083)922-2000

係 印

この領収証で係印無
いものは無効です

県外調査概要書

5年 2月 4日

会派名・議員氏名

自民改革会議 落合慎悟

<p>目 的</p>	<p>水素エネルギー開発関連の 先進県・企業の調査研究 ① 水素先進県の実現を目指した山口県庁の取組と水素開発に取組む長州産業視察 ② 鳥取県の水素エネルギー学習館「鳥取すいそ学びうむ」視察</p>
<p>年 月 日</p>	<p>2月1日～2月3日</p>
<p>場 所</p>	<p>山口県庁、山陽小野田市長州産業株式会社、鳥取県鳥取市「鳥取すいそ学びうむ」</p>
<p>内 容</p>	<p>1 行程 2/1 17:29 藤枝出発 18:07 静岡～22:15 新山口着 宿舎 コンフォートホテル山口 2/2 新山口 10:00～12:00 山口県庁 13:30～15:00 長州産業 宿舎 ユウベルホテル松政 2/3 8:27 湯田温泉出発 9:50 新山口～12:53 鳥取 13:30 鳥取すいそ学びうむ 16:20 鳥取～静岡～21:15 藤枝帰着 2 応対者 山口県庁 議会事務局・商工労働部新産業振興課技術革新支援班職員 2名 主任 羽根昌徳氏、主任 松田卓也氏 山口県山陽小野田市 長州産業株式会社新エネルギー本部水素事業部 部長 XXXXXXXXXX 鳥取県鳥取市 鳥取すいそ学びうむ 女性職員</p>

3 聴取内容

① 山口県庁商工労働部新産業振興課



山口県庁



山口県議会玄関



議会応接室で説明を受ける

「水素先進県」の実現を目指した山口県の取組について新産業振興課の職員から説明を受けた。

山口県は、コンビナートが3カ所あり、石油精製、苛性ソーダ工場等から排出される水素の全国の約1割を生成している。

山口県は全国初の試みとなる水素の一般家庭での活用など、早くから水素を活用した取り組みを実施してきた。マツダの水素ロータリーエンジン車や燃料電池バスの運行等で、コンビナートで生成される水素を活用している。

平成30年に「やまぐち維新プラン」を策定し、基本目標、9つの重点成長分野を明確にして、集中的な取り組みを展開している。

水素に関しては、製造、輸送、貯蔵・供給、利用まで一連の流れが地域で完結する「地産地消型」水素サプライチェーンを構築する。

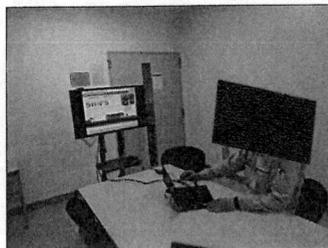
これまでに、純水素型燃料電池システムの開発、水素ボイラー搭載型貯湯ユニットの開発、太陽光発電による水素製造システムの開発など研究開発補助制度により、成果が出ている。

今後は、地域や企業と連携したサプライチェーンの構築に向け推進体制を強固にして取り組んでいく。

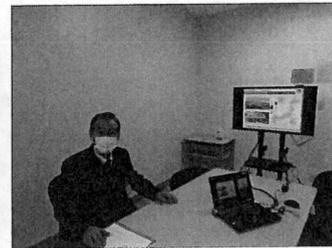
② 長州産業株式会社 新エネルギー本部水素事業部

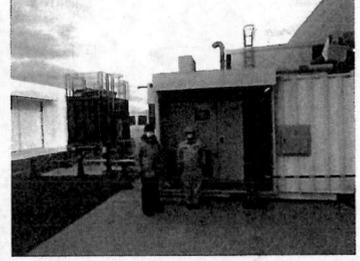
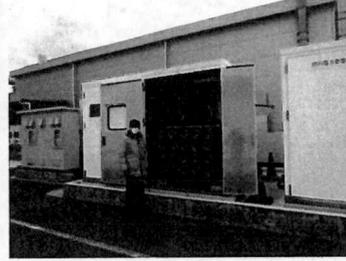
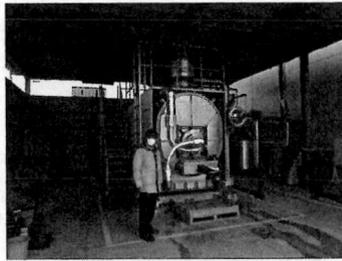


長州産業本社



本社会議室で水素事業部長が説明してくれた





バイオマス発電装置 水電解水素製造装置 燃料電池発電装置、左に冷却機
 長州産業㈱は、昭和55年に設立、資本金41,000万円、石油ボイラ事業から開始、電気温水器、エコキュート、太陽光発電パネル製造などで成長し、特に、真空タンク製造で特殊技術がある。

「技術維新」を掲げ、研究・開発から設計、加工、組立・据付、アフターサービスまですべて自社で対応可能な一貫体制を構築している。

概要説明の後、工場内を案内してくれた。残念ながら工場内は写真撮影禁止。

主力の太陽光パネルの生産工程では、中国から液晶パネルを輸入し、組み立てを行っていた。1日の生産量は8,000枚の太陽光パネルを組み立てる。

屋外では、バイオマス発電設備があり、稼働していた。家畜の糞や野菜残渣などが処理できる装置で販売額は1億円程度とのことだった。

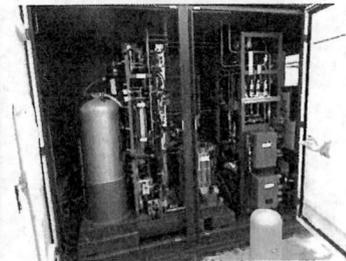
純水素燃料電池発電機「ミズトモ」があった。水素を供給し、水と電気を発生させる装置だ。50kw～500kwまでラインナップされている。中にはトヨタのエンジンが入っているがエンジン冷却に大型冷却機が必要。

また、水電解による水素製造装置があった。長野県の水素ステーションに納入実績がある。しかし、実際には大電力が必要で、とても採算は取れない。とのことだった。

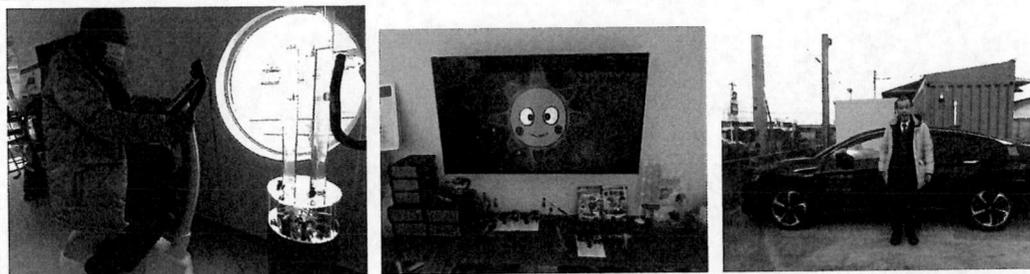
③ 鳥取県「鳥取すいそ学びうむ」



「とっとり学びうむ」 スマートハウスは他の事務所 展示用の太陽光発電パネル



水を電気分解した水素を利用する水素ステーション 「学びうむ」水素を学ぶ部屋



足こぎ電気で電気分解水素発生、水素の解説ビデオ 県所有ホンダの燃料電池車

再生エネルギーを活用した水素ステーション、スマートハウス、燃料電池自動車を水素エネルギーの活用によって一体整備する全国初の取組だった。

しかし、太陽光発電は規模が小さすぎて使えず、展示のみとなり、スマートハウスはハウスメーカーの事務所に利用された。

スマート水素ステーションは、水道水を電気分解し、水素を取り出し、タンクに貯蔵できる仕組みで、そのタンクの水素を水素ステーションが利用するスマート方式だった。

現在、一般電気を引き入れ、水素を作っているが、装置自体の耐久寿命からあと2年しか持たないそうだ。

水素ステーションを利用する燃料電池自動車は上記写真の県庁用車と敷地内にある鳥取ガスの社用車、2台だけで活用できていない。

鳥取県が水素開発技術知識がなく、補助金目当てで、少し先走りすぎたようだ。

「学びうむ」は、毎月2回、定員5名の参加で土曜日の午後2時間のイベントを行っている。開館日は、金、土、日で9:30～16:30まで、料金は無料。

この学習館も規模が小さくて魅力が無く、辺鄙な場所であるため、子ども達はほとんど利用しないのではないかと想像する。

4 県政への反映

山口県は約10年前から水素利活用構想を策定し、副生水素の活用を研究してきた。県内には水素ガスを発生するコンビナート構成企業が多く存在し、現在では、ガスの大手企業岩谷産業や苛性ソーダ製造のトクヤマが水素ビジネスを本格化している。

トクヤマは沼津市のバイオコーク技研に水素吸蔵合金「マグ水素」を年間30t発注している。水素を貯蔵、運搬するのに適しており、今後さらに開発が進むだろう。

静岡県では、副生水素は望めず、太陽光発電電力で水の電気分解で発生する水素の活用が適している。これから県内企業支援として、水素製造として、水の電気分解技術、水素吸蔵合金開発など貯蔵技術、水素の取出し技術などの参入企業支援と水素活用研究企業も多く参入してくる感じた。

これからは、山梨県と連携し、水素技術先進県として、静岡県を担ってくれる企業の参入支援を推進していく。

*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。